

八丈島 水産だより 5月号

2010



八丈富士



谷間を泳ぐ鯉のぼり(檜立地区)

4月は数日おきに低気圧が島の近くを通過し、雨が降ったり晴れたり
の繰り返しでした。雨がふって晴れるたびに新緑の鮮やかな黄緑色が山
のふもとから次第に上がっていきます。これからは晴れると少し汗ばむ
陽気になりますが爽やかで心地よい風がふき、年間でもっとも快適な時
期が梅雨入り前まで続きます。

■カツオが減ってキンメダイ増える



樽かつお



キンメダイ

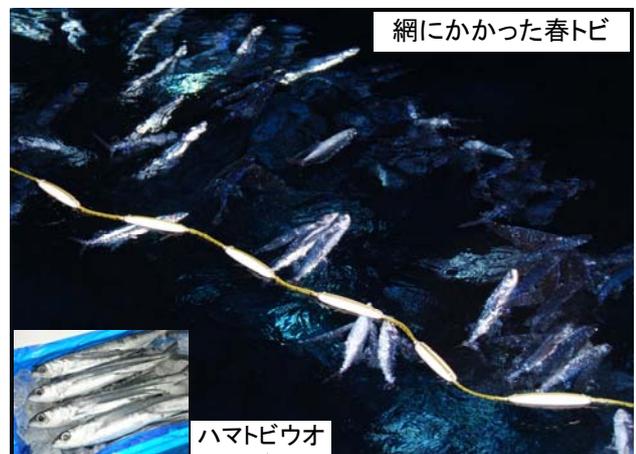


キンメダイの出荷準備

2月に沢山とれたカツオは、3月に入るとあまり獲れ
なくなりました。ほとんどの漁船がカツオを追いかけて
いましたが、キンメダイの操業に切替える漁船も増えて
きました。水揚げされた魚は漁協の人が受取り、ただち
に大きき別に分けられます。カツオは樽、キンメダイは
発泡スチロールの箱に氷詰めされ、あっという間に大き
な冷蔵庫に保管され出荷を待ちます。

■トビウオは順調

今年の春トビ（ハマトビウオ）漁は始めか
ら順調で、今年の合計も75万尾を超える勢
いです。島では春トビを「島ずし」や「たた
き」にします。また、羽のような胸びれもか
ら揚げにしてパリパリと食べることができます。
さらに頭や骨からおいしい「だし」をと
ることができるなど、捨てるところのない魚
です。



網にかかった春トビ



ハマトビウオ